

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2025No.392】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト

曲名：交響曲第41番ハ長調 K. 551 《ジュピター》

演奏：ジョルディ・サヴァール指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/56351>

2025年12月7日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



サヴァールがモーツアルト《ジュピター》でベルリンフィルにデビュー

ジョルディ・サヴァールはモーツアルトのきらびやかな交響曲第41番《ジュピター》を録音した際、彼の長年にわたる歴史的演奏実践の研究によって培われた、活気に満ちてコントラスト豊かな解釈により高い評価を得ました。この交響曲を携え、カタルーニャ出身の指揮者であり、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者、そして研究者でもあるサヴァールがベルリンフィルの舞台に初めて登場します。今回のコンサートでは、そのほかにラモーの祝祭的な組曲《ナイス》、グルックの革新的なバレエ音楽《ドン・ファン》という2つのバロック作品が演奏されます。

上記の他に下記が演奏されました。

ジャン=フィリップ・ラモー 組曲《ナイス》(ジョルディ・サヴァール編)

クリストフ・ヴィリバルト・グルック バレエ《ドン・ファン》

ラモーの組曲《ナイス》は、ベルリンフィルのフルオーケストラに古楽器が加わり、フランスバロック音楽のスケール感のある華やかな演奏です。

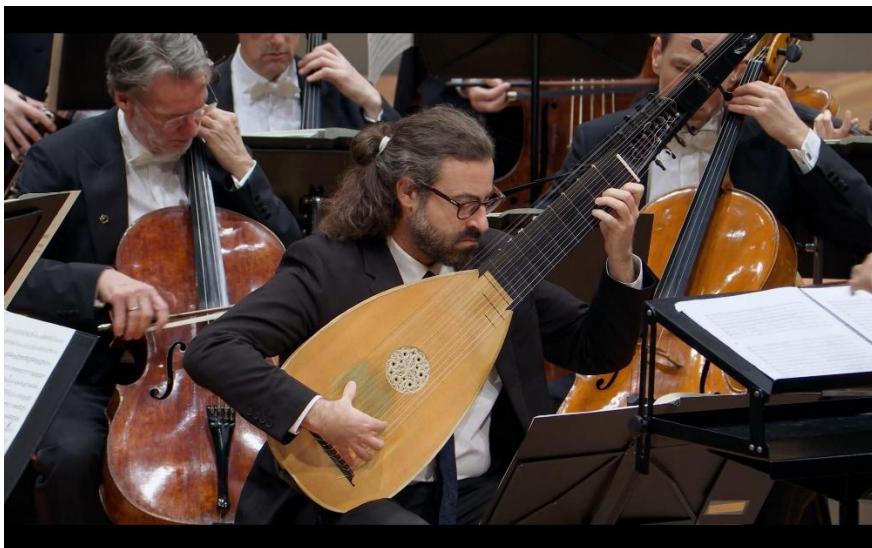
グルックのバレエ《ドン・ファン》は、これもフルオーケストラに古楽器が加わります。

グルックはバロック時代のオペラの改革者とされていますが、演奏されたバレエ音楽

は、華やかにバレエを盛り上げるような曲です。

モーツアルトの交響曲第41番ハ長調《ジュピター》は、お馴染みの曲で、宗教者のような風貌のサヴァールの淡々とした指揮ながら、爽やかで歯切れのよいモーツアルトです。

LAN接続にOPT ISO BOXと電源交換したLAN iPurifier Proを適用し、ABS-7777からのクロック入力のBrooklyn DAC+に送り出し、PCとBrooklyn DAC+の間にはUSBアキュライザーに交換した結果、ベルリンフィルあまり聴けないラモーやグルックとお馴染みのモーツアルトの新鮮な演奏が聴けました。



以上